大正十三年三月二十二日第三種郵便物認可　昭和十五年七月二日　磐城新聞　【夕刊】　第五千八百六十一號　【一】
夕刊
七月二日發行
日曜祭日翌日休刊
東京振替一〇八・五六五五番

緑蔭随記
―齋藤茂吉と近代音樂―

廣田生

（上）

或日私は雑誌アララギの表紙にオランダの畫家レンブランドの繪がのつてゐるのを目新らしくみた。遠い先ほどまでアララギに年つゞけて平福百穗氏の繪が連載されてゐる。百穗氏の繪の種ぎれといふ譯であつたかそれは知らないが、次に現はれた繪がレンブランドであつたのが私に興味を引いたのである。

この繪を表紙に選んだのはその解説をしてゐる齋藤茂吉氏であることがわかる。そしてその繪が非常に傑作であると今更作ら感嘆の聲をあげ、この表紙のよかつたことを喜こんでゐる多くの同人をみれば、これまたこれが現代のアララギの時風であらうかと頷くことも出來るのである。

「畫家レムブランド」と聞しか映畫を見たか見ないか知らないが、古代オランダの生んだ、偉大なる畫家の名をありがたがつたと云ふ人もある意義に又殊勝とも云へようか。この有名な古代の名を選んで表紙にしたといふ趣味は如何に考へ直しても褒めたことではない。こんな野暮な表紙は恐らく今外でみられやうとも思へない。

或日新らしく吹き込まれて發賣されたストラヴィンスキーのレコードを聞いてから、私は久しぶりに銀座の道を歩き作ら考へてみた。近代音樂の魅力が私をとらへてからどうしても離れないのを痛へつゞけてゐたのである。つまりラベルの曲にしてもストラヴィンスキーの曲でもその響は新しい音樂の世界への出發であつた。世紀末的時代に住んだこの作曲家を古代の作曲家と比べ、世紀末的香が強いといふのはまた別な話である。

ラベルのピアノチェロやストラヴィンスキーの舞曲は別として、私の趣味からいへばその作曲家は近代クラシックの作家フランクやまたドビッシーの曲を好む者ではあるが、今ではもつと大きく分けて古代の作曲家と比ぶるに、近代フランスより出發したこれら近代音樂の曲は既に世界の音樂を革命して、その以前の曲に黒いヴエールをかむせてしまつたといふことがいへるのである。

亡妹悲歌

露木柾夫

（五）

○さみどりの群生の羊齒に翳りたるひかりを見ればおぼつかなしや

○夕づけば風たつ山の裾にきてうつぎの花のこぼれるをみし

○うつくしくよそへる街の少女らがこゝろはづむを夕べ吾がみぬ

○老いらくの父が欲りする夜語りに言葉ひかへて吾はきゝゐつ

○君はやく寝につくちゝの面輪和ぎはげしき生業につかれ老ゆかも

7月2日

△新田義貞戰死す（延元三）△徳川家康江戸城に入る（慶長五）△日滿軍ハルハ河方面のソ蒙軍に對し一大殲滅戰を展開す（昭和一四）

○

心あるものには、木ずゑを渡る風の音、小川のせゝらぎ皆尊き説教の聲　シェークスピア

講談　夜嵐お絹

[108]

悟道軒圓玉
筒井直衛　畫

やらずの辨次

「姐さんお前さんは何者だネ、女にしては眼が利いてゐる、わつちを堅氣でねわと見なすつたが、所で玆にお在でなさる皆さんも先づ御同様だナ、十兩の資本を下して二歩儲けて世を渡り紳様や佛様に見られても恥しくねわやうな野暮な稼業をしてゐる人とは思はれねね」

と云つた、それを聞いて唐人亀が

「玆に居るは濱川の吉右衛門親分だ、俺は子分の唐人亀で、傍にゐるは羽田の仁藏、俺たちは二十一目のある化物をオモチャにして遊んでゐるのだ、またピカ一の姐さんは、、、それは言はねえ方が宜いや今日は用があつて淺草まで行つた其歸りだ、ところでお主は博奕打とは見わねえが、何んな事をして生きて居るンだ」

「わつちはチャキでございます、判りよく言へば巾着切、上方で云へばチボでございます」

「巾着切か、ウムさうか。それでは盗人だナ」

「まアそんな者でございませう、兩國の廣小路から淺草へかけて、仲間には顔を知られたやらずの辨次と申します、わつちの親分は松坂町の嘉藏でございます、今夜濱町の友たちの所へ行き、それから深川へ行かうと大橋まで來ると手先に追ひ結められてこれには困つた橋の上で何うも身を隠す場所が無い、據なく川へ飛び込みまして手先をやり過して、橋間の杭につかまつて一息入れてゐた所へ、この船の通るのを見て助けて頂きました」

「ウム然うか、親分、これは兩國に居る巾着切でございます」

吉右衛門は煙草をポンと投げて

「まア宜いや、連れて行つてやれ俺たちは博奕はするが、人の物に手は掛けねわ、チボに比らべれば先づ善人であらうか、然しお主の因つてゐるのを知りながら見棄てる事も出來ねわ」

「有難う御座います、それにしても其所にお在なさる姐さんの眼力には驚き入りました、一目でわッが堅氣でねと見破つたは、ハテ恐ろしいと……宗清が云ひさうでござんす」

是を聞いておきぬは辨次さんとやら惡い事は出來ないネ、お前の着てゐた其着物は松坂木綿の白微塵、巾の狭い博多に帶に晒の腹卷、それと匕首が忍ばせてあつたネ、紙入は紺天鵞絨の三ツ卷、堅い商人の手代の持物としては……それに右前は入墨があるじやないか」

「エッ、とんだものを見られましたね」

と左の二の腕を辨次はまくる

辨次と異名をつけま　た

「辨次さん、親孝行した者に其の入墨は無い筈だ、惡い事を……」

「まア宜うがす、重ね／＼のお前さんの目の高いには驚きました、わつちだとて阿母の腹を飛び出した時に取上げ婆の巾着をさらつた者でもございません十四の時からぐれ出して辨疑盤を捕へては此奴の胴中を結へては宮寺の賽錢箱に入れて錢を取らしたのが仰々惡事のはじまりで、巾着切の親分嘉藏の子分となり、ミッチリ仕事を仕込まれて十八の時には一人前になりました、それから以來わッちが腕んだ仕事に決して他人の手に掛けねわので、仲間の奴等はわッちの事をやらずの然しこんな事は自慢にはなりません、乃でお情に甘へて濟みませんが當分御迷惑でも伺つて置いて下さいますやら親分や兄ィ達にお願ひ申します」

「まア宜いや、俺の所へ來て遊んでゐろ、博奕打に巾着切は要らねわが、又何んぞ役に立つ事もあらう」

「ヘエー、こんな破落漢でも、御役に立つ事も御座いませう、何卒可愛がつておくンなさい」

と斯う云つた、其内に船は品川に着いた、一同は玆から上陸するやらずの辨次は濡れた衣類を抱へて、裸体で吉右門に連れられて來た何同家ではおきぬの消息を案じてゐたは酒井豊之助ゝきぬの無事なるを見て大いに歎んだ

開業
內臓外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
醫學博士　內木宗八
（入院隨時）

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
㊈マルミ粉末石鹸
製造元　平市材木町二一

肺・肋膜・心臓・胃腸の弱い方に血となり肉ともなる……
本場　生スッポンの『生血・生膽』を御勸め致します
スッポン
平市六丁目通り
生スッポン特約發賣
さかいや商店
發賣場　平市正月町一番地
スッポン黒燒、むし燒粉末もあります

登錄商標
家傳良薬　ゆでぐすり　ムテキ
一袋三十錢　二袋五十錢　五袋一圓
切傷洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく
やけど、ちゝはれ、くさがさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ腫を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舖　宮城縣　ムテキ商會
平市古鍛冶町十番地（縣社下）
代理店　阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

高久病院
平市田町（電話五三一番）
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹[illegible]
內科　外科　耳鼻咽喉科
小兒科　花柳病科
（看護婦至急募集）

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
內科・小兒科……院長　副院長　鈴木定藏
內臓外科・一般外科・皮膚泌尿器科……副院長　高橋俊幸
レントゲン科・物理的療法科……院長　鈴木定藏
藥劑部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意　病室完備）

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前　電三三六

ミシンと洋裁
ミシン界の王座
陸軍省御用達
商工省撰定
滿州御指定
純國産ノ權威
アサヒミシン
ニツポンミシン
ニツサンミシン
パインミシン
シンガーミシン
現金、月賦、教授
型錄無代進呈
平市田町
シンガーミシン商會
◎中古高價買入

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物　みやま羊羹（名産梨かん）
―赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社参詣土産！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同七濱……のり羊羹
同豊間……辨天羊羹
製造販賣元
小川郷驛前
平屋賣店

內臓外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
醫學博士　北川芳夫
平市新川町（電話六四番）
◎入院隨時

故障の起らぬ
AKL
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

一酒
乙な通で
おでん
味館
平三田小路

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

お醬油は……ヤマフル
味噌　醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

月曜論談

市民の熱に謝す

寸分の弛み無き精神武裝の凛々しい姿は、曠古の聖業が漸次完遂されんとしつつある昨今に於てあらゆる部門を通じて着々具現されて居る時局下に處する吾人の勇猛心に一段拍車を加へて居るが、昨今わが平市に於て行はれ居る警防團後援會の寄附金募集が、各方面有志の翕然たる共鳴の下に所期の成果を擧げんとして居るなども亦時局意識の一發露たるを失はず、念ふて邉ろに會心の微笑を禁じ得ざるものがある。惟ふに所謂警防施設の重要性は輕重深淺の差こそあれ都鄙を問はず一日も不可欠の事に屬し、吾人の生命財産は之れが完璧に俟つて初めてその全きを保障さるる所以で最近諸種の情勢は市街地に在つて特に其の必要性を加重されて居るは云ふ迄も無い。而も平市のそれは既に精鋭なる近代的機械器具と一糸亂れぬ多數團員の統制とによつて正に物、人双美殆ど間然する處無き形態を具備するものの如くであるが、常に吾人をして豫備知識の把握に困しむる災殃が及ぼす處蓋し測り知るべからざるものあるは最近突發した生々しい實物教育によつて大衆を驚殺した一事例に徴しても瞭かな處あり、之を不可抗の現象として拱手傍觀せず、須く一歩前進し安寧福祉の確保に萬全を期せねばならぬ限り、平市警防團の現有機能は未だ必ずしも理想に庶幾きものありとして此際何人が勇敢に斷じ得るものぞ。警防團の擴充強化上後援會ノ側面的助成活躍は斯くして創意されたものであり、事の性質上極めて香ばしからぬ寄附金募集の雜役を引き受け孜々倦まる關係方面の熱意さる事乍ら、租稅公課その他時局的の新負擔等で支出多端の市民が多言を費さしめず唯々として千金を吝しまぬ贊助振りは延いて自己の幸福を庇護さする功利的觀念が絕無でないにせよ、時節柄全くその熱意に感激せざるを得ない。玆に市民の感謝を叙ぶる所以である。

炭礦は時局に跳る
今期の營業報告書から眺めた 各社最近の陣容

國力推進の重要な一翼たる黑ダイヤは施設の整備勞務資源の擴充等、全く緊張そのものである勇往果敢な銃後産業人の燃料報國によつて日夜活潑な生産の營みが續けられてゐる。この全山に混淆錯綜する炭礦特有のダイナミックな音響!蓋し斷じて豪快な産業進軍譜ではある

磐炭 一ノ瀬所長專務に
堅實主義で九分配當

去る二十八日總會を開催いたが今期成績は

總收入金
金五百八十萬七千四百五十四圓六十五錢
總支出金
金四百七千六萬九千七百六十一圓六十九錢
差引
金百三萬七千六百九十二圓九十六錢　當期利益金
內五十萬圓固定資産銷却金
金　七萬四千七百五十圓十八錢退職準備積立　二萬圓役員賞與金
再差引
四十四萬二千九百四十二圓七十八錢當期純益金
十一萬八千三百二十一圓三十六錢前期繰越金　合計五十六萬千二百六十四圓十四錢
處分內譯
金三萬圓法定積立金　金四十二萬九千六百八十七圓五十錢(年五分)株主配當金　金十一萬千五百七十六圓六十四錢後期繰越金

で尙は副社長前川益以氏辭任一ノ瀬亮一朗氏專務就任取締役所長となつた

入山 人事に一新味
從來の大貫所長の外 大越技術部長取締役に

二十九日總會開催、利益金處分內譯次の如し

金八十三萬二千六百九十四圓八十二錢　當期利益金
內
金四十萬圓　財産減價銷却金
差引
金四十三萬二千六百九十四圓八十二錢　純益金
金七萬七千六百圓二十七錢　前期繰越金
內二萬二千圓法定積立金
一萬七千圓別途積立金
二萬圓役員賞與金　三十三萬圓株主配當金(年八分)　四萬三千圓役員賞與金　七萬八千二百九十五圓九錢

技術部長大越新氏取締役に就任した

大日本 業績愈よ飛躍的
配當年九分を斷行

去月二十七日の總會に於て利益金處分を左の如く決議された

利益金處分
金三十四萬八千八百二十三圓十九錢　當期利益金
內
金二十萬圓　財産減價銷却金
差引
金十四萬八千八百二十三圓十九錢　純益金
金一萬七千九百九十九圓八十九錢　前期繰越金
合計金十六萬六千八百二十三圓八錢

處分內譯
一萬圓法定積立金　十二萬八千二百五十圓(年九分)配當金　一萬圓役員賞與金　一萬八千五百七十三圓八錢後期繰越金

因に同社では今回制度を改め取締役會長古賀春一氏が社長に、取締役社長南俊二氏社長を辭任した。外取締役は專務戸部光衞氏、常務岩崎清七氏である

五錢値上は一部だけ
市の理髮料金

既報、器具機械類の昂騰から五錢値上げを認められた平理髮業組合ではこれに關し平署と協議の結果、町中央部は五錢を値上げ、その他は從業通りとすることに決定、實施することゝなつた

受驗兒童が使ふ 運動用具を購む
第一で佐藤氏の寄附善用

既報市內紺屋町佐藤作平氏が此程物故し母堂の追善供養として平第一校兒童の運動獎勵に提供した五百圓の寄附金は時節柄少からず學校當局の感激を唆つて居るが右に就て篠山校長は語る

寄附者の意志に添ふ様出來る丈、有意義な方面に使ひ度いと思ふ。運動競技に不器用な兒童は上の學校へ進めなくなつた今日、体育方面の練成を助くる斯うした篤志家の現れた事は眞に喜ばしい事であり、既に準備濟みのものゝ外差當り欲しいと思つて居たジャングル、ゲームの道具でも註へやうかと思つて居る

日本青年 北部大會
市から四氏出席

來る七日の支那事變記念日をトし新潟市に擧行される紀元二千六百年令旨奉戴二十周年奉祝大會日本青年團北部動員大會に出席の市代表は左の四氏と決定した、尙ほこの日行はれる武道大會劍道に地方からは小名濱町藥谷勝男氏が出場する

舊城路大和田祐之(市幹事)田町金子松男(西部團員、新川町鈴木文雄(東部副長)中平窪三瓶榮(北部部長)

體位向上は潮風で 片濱の浴場開く
防空訓練のご用意は?

七月暦

◇……「天気情あり」きのふまでのぐづつき天候も田植の完了と共にカラリと晴れ上つて、暫く振りに仰ぐ碧空の快さ!戸毎の日の丸も力強くけふ興亞奉公日は明るくも一億一心の緊張を漲らせてゐる

◇……夏休前の本試験に意氣込む中學生。市民が張り込む防空訓練は十三日から始まり、最終十八、九兩日の燈管には愈よ本格化して お互ひ空への認識が深められる

◇……戰時下土用丑(二十一日)の景氣はどうか?体位向上の掛け聲に海へ、山へ健康行事は今年も月末頃からだらう。

△一日　不定期、準急列車運轉延長新期間に入る、精動運動協議會、土の尖兵の一人豐間村大嶺富五郎君現地報告講演
△二日　半夏生　平署經濟講演開始
△五日　種蒔、舊六月大
△六日　國勢調査打合會(市公會堂)
△七日　事變記念日、小暑せつ、七夕、神谷村本行寺竣功入佛式、第七回關東北軟式庭球大會(磐中)
△九日　娘斬り臨男判決日
△十三日　今年度第二次防空訓練開始
△十五日　片濱鮫漁船一齊出動
△十六日　初伏
△十八日　防空訓練本格化　家庭防空群活動開始
△二十日　土用入
△廿一日　土用丑
△廿三日　大暑、ちう
△廿六日　中伏

石炭需給調整協議會委員
此程愈よ委囑發令

既報縣の石炭需給調整協議會規程第五條による委員は此程左記の通り委囑され縣下中小需要者に對する石炭の需要調整に關する重要事項の審議に協力することゝなつた

(炭礦側)磐城一ノ瀬亮一朗、入山大貫經次、古河下野十朗、大日本戸部光衞、日曹鳥居大惠
(販賣者側)阿部政右衞門遠沢龍輔、外中通りから二名、會津から四名

因に會長は橋本知事、副會長は逢林經濟部長である

自動車喞筒の應援で灌漑
水不足の眞似井

地方の田植は甚だしい水不足に惱まされながらも既に大部分終了したが市內眞似井部落の約六反歩は依然水不足が解消されず已むなく今一日市警防團自動車ポンプの應援を得て灌漑を終へ明二日一齊に植付けることゝなつた

なほ宇桂進部落の一町五畝歩は地域的に自動車ポンプの利用も出來ず、關係民一同空を仰いで一と降りを待つばかりである

兩軍共一勝一敗
甲子園目指す磐中、平商 きのふ日立、郡商と一戰

甲子園檜舞台を目指す磐中、平商兩野球部ではその前提たる縣豫選が切迫したので引續き練習に精進して居り昨三十日は日立製作所並に郡山商業を迎へ一戰を交へた結果兩軍とも良く郡山商業を制壓したが日立軍には一敗を喫した、成績左の如し

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
磐	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
日	0	0	3	3	1	1	2	3	4	17

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
郡	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
商	0	0	0	0	1	0	2	2	1	6

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
郡	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
磐	2	0	2	3	0	0	2	2	2	11

磐女軍大捷
日立遠征戰績

磐女庭球部では鈴木光四郎敎諭引率の下に昨三十日日立に遠征、左記戰績で大捷凱歌高らかに歸校した

准決勝
(磐城)千葉・内藤　3—0　(日立)富岡・岡崎
(磐城)山野邊・佐藤　3—0　(日立)笠間・山本

決勝
(磐城)千葉・内藤　3—0　(磐城)山野邊・佐藤

決勝で敗る
市の教員籠球部

平市並に石城郡下小學教員籠球部は三十日縣師範で擧行された縣体協主催第五回會員体育大會に出場したが成績左の如し

△第一回戰
平　30—22　田村
石城　40—22　安達
△第二回戰
平　41—29　福島
信夫　50—40　石城
△決勝戰
信夫　18—14　平

一割以上の 節米實行申合

市では今一日公會堂に開いた精動運動に關する協議會席上左記申合せを行つた

平市各常會は本縣節米實施要項に基き實行方法を定め各家庭に於て一割以上の節米を實行すること
(この外貯蓄增額、興亞奉公日に關する二件)

名稱不明の毒虫
今年も漸次發生 閨房の小暴君を警戒せよ

兩三年來夏季中市內各家庭の閨房を脅威した厄介な名稱不明の毒虫が今年もそろそろ發生して各方面を憂鬱ならしめて居る。

針先程の極く小さな生きものであるが、その毒は可なり惡どいもので一度螫されると直に發赤腫脹して猛烈に痒みを感じ、而も簡單な塗布劑位では容易に癒らず、殊に就寝中の苦痛が甚しい爲め被害者は終夜展轉反側して睡眠不足に陷る程である

家ダニ、鼠の蚤等種々な觀かたをして居るが何れにせよこの小暴君に取り附かれぬ樣適當の豫防警戒が必要とある

五、六才が一番多い
賑かな市隣保館の近況

既報五月十四日から保育を開始した市隣保館の在籍園兒數は五、六歳を主に男五十一名、女五十九名計百十名(略ね商工業の子弟)の多きに上り、昨三十日簡素ながら竣功式を擧行した

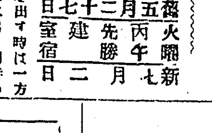
遊戯場を加へ總敷地六百坪で事務、保育、使丁、保姆、診療各室採光通風理想的な子供の樂園

なほ同じ助成會の事業たる授産所は現在五十八名で一ケ年間の稼働延人員一萬八百十一名、その工賃五千六百余圓に達してゐると

寄懷馬上文理大教授　瑞雲　小野務平

天涯契濶馳驅繁
節序厭他寒暑喧
際此時艱任薫化
要將濟美答皇恩

七月二日　火曜
舊五月二十七日
丙午　先勝　建　室宿



二日
【小名濱測候所調】
滿潮　前〇、四五　後一三、一五
干潮　前八、二〇　後八、一〇

▲一白　八方へ手を出す時は一方も滿足にならぬ日▲二黑　期待の相違し易き日氣を落付けあせらぬが吉▲三碧　位置の固まる日口數は成るべく少きが良し▲四綠　信念强ければ次第〱成功に近づき行く日▲五黃　多端の中に座しても動せざれば過ち無き日▲六白　平和の內に願望成就すべし普請企業何も吉▲七赤　地味の業は順調に行けど投機には凶なる日▲八白　事の前後せぬ樣に注意して進めば過ちなし▲九紫　小故より意外の事變を惹起することある日

石坂社長息

上好間炭礦社長石坂隆輝氏長男克己氏は一昨二十九日長逝明二日午後二時から仙台市東三番町一五九の自宅で告別式を擧げ追て郷里長野市の本宅で本葬を執行すると

鎌田青年 勞力奉仕

市內鎌田町青年團では精動改組第二回目の今一日興亞奉公日に際し團員一同午前四時半起床、町內熊野神社境內の淸掃に從事した

平市慶弔錄

△出生　長橋町五〇髙橋幸介氏四女弘子さん
〇婚姻　茨城縣新治郡土浦町三、一五二伊佐山光次郎氏(三八)と立町九三中川イソさん(四三)

外務員を募る
最も好適な職業として住友の保險勸誘をお奬めする
住友生命は住友本社直系の基礎鞏固經營確實信用絕大なり
無經驗の新入社員には講習會を開いて懇切指導
今や募集陣容大擴張の眞最中で廣く新進奮鬪の士を求めてゐます
詳細當事務所に御問合せ下さい
平市四丁目三二
住友生命保險株式會社
平事務所

外科、內臓外科　エツキス光線科
入院隨意
院長　安齊徹
平市田町
安齊醫院
電話四七五番

暑熱の御めしものには
石川亭のすき燒を
夏季中特に香水風呂の設備あり
平市田町
石川亭
電話四三番

內臓外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士　松村亨
平市南町
松村醫院外科部

本年度の盛夏服
Refinetex
リファインテックス
ポーラー
フレスコ
パームビーチ
シルクテックス
クールシルク
在庫豐富
大崎屋洋服店
平銀座　電96

吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄
平市紺屋町　電話六八番